

神奈川県秦野市における地域公共交通活性化・再生総合事業について

計画事業
(3年目)

経緯

公共交通の現況

○市内には鉄道駅が4駅あるほか、これら4駅を中心とした路線バスが放射状に運行されている。

課題

○公共交通空白・不便地域への対応や不採算バス路線対策のほか、市が無料で運営している公共施設巡回バス(フレンド号)のあり方等が課題となっている。

活性化の目標・方向性

- 公共交通空白・不便地域に対する乗合タクシーの導入により、公共交通空白・不便地域の緩和及び住民の移動手段を確保し、今後も本格運行に向けた利便性向上を図るとともに、周知活動や情報提供に努めていく。
- バス利用の円滑化と利便性向上を図るため、市内路線バスの利用環境を改善することにより、自家用車から公共交通への転換を図り、渋滞緩和・環境負荷の軽減に貢献する。

【事業の内容（平成22年度）】

- 秦野市内における乗合タクシーの実証運行(平成20年～平成22年度)
 - ・路線固定型による実証運行(平成20年～平成22年度)
 - ・デマンド型による実証運行(平成21年度～平成22年度)

【今後の事業の方向性】

○平成23年3月まで実証運行を継続していく中で、実証運行事業を評価・検証し、本格運行に向けて課題の整理を行うとともに、市の支援方策について検討する。

